
朝方の泣く狂イ女神

皇帝の宿命

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

朝方の泣く狂イ女神

【NZコード】

N5984F

【作者名】

皇帝の宿命

【あらすじ】

壊れきった世界に壊れた愛を壊れた人を…狂いを…

(前書き)

狂イ神第一弾……見てくださいね……じゃないと狂つて殺しますよ。

狂氣の神がいるなら、狂喜の女神がいてもおかしくはない……

古ぼけた神殿で、一人の青年が何かから逃げていた。青年はある宗教団体の殉教者でもあった。

僕は『狂乱宗教』の殉教者で小さい頃から巫女様の世話役だった。僕はこの役を最初は光栄だと思っていたけど。

「〇〇〇、どこに?..」

今僕は巫女様に追われてる、ただ親衛隊の女の子と話しただけなのに!

親衛隊の女の子は、眼を抉られ内臓を引き出されて、頭を潰された……

巫女様は彼女を殺すと褒めて褒めてと僕に近付いて来たので恐くて逃げた。

小さい頃から一緒にいるので、兄妹同然に育つたがあんな狂った巫女様は初めてだ……あれ……なんで、逃げてるんだ?

巫女様は狂ってる……その巫女様に殺されることは、光栄ではないか

!!

はっはははは、逃げては駄目だ……殺されなきや、殺されなきや……狂つた巫女様に!!

青年の殉教者は巫女様の前に出てきて、巫女様の持つ鋭い短刀で心臓を一突されて絶命した。

巫女様はそれはそれは嬉しそうに笑い、青年を滅多刺しにして、体をばらし肉片に変えて、それを貪つた。

はながら見たら、恐るべき行為だらう…しかし、彼ら『狂乱宗教』では正しく望ましい殺されかただ。

殺された青年の顔は幸せに満ちていた。

『狂乱宗教』とは、数年前に人類史上最悪なクーデターを起こした狂気の宗教団体である。

現在は世の中は落ち着いているが、世界の人々は『狂乱宗教』を心の底から恐れていた。

彼らの狂気があまりにも、恐ろしい…が愛しさもあつたと言うから、世界は狂つてゐるのだろう。

彼らの起こしたクーデターの最大の死因が恐ろしかつた。
大抵、こういうクーデターなどは軍やクーデターを起こした者の銃撃戦などの死亡だらう。

しかし、このクーデターは最大の死因が『自害』であつた。

殉教者は軍人まで、近付くと様々の方法で自害した、それを見た軍人は恐怖し、恐怖から逃げる為に自害した。

これは伝染するかのように自害したところを見たら、次々と周りが自害した。

最も酷い例が『第八十八前線基地』で、たまたま生き残つた軍曹が小型拳銃で最初に自害し、それを見た他の兵士達も次々と自害した。

そして、その軍曹の取材に来てたレポーターとカメラマンもその場で自害した。

詳しい理由はかつてないが、現在有力な説は沢山あつた。

精神的なモノ

疲労と困憊

恐怖

バイオ兵器

心理戦など沢山の説が上がつた中で、『狂乱宗教』が唯一認めたのが『狂氣の果ての死』だった。

だが、そんな理由で納得するわけがなかつた。

『狂乱宗教』の崇める神『狂イ神』に認められた女性は巫女となり

『狂イ女神』と皆から慕われ、愛される。

『狂イ女神』になるには、条件があつた…それが、愛しい人を殺してその肉を貪ることだ。

その光景は狂喜の他はない…あつてはならない。

そして、巫女が決まると殉教者達は叫んだ！

ああ、愛しき巫女様…ああ、美しき女神様あ…！

私を殺してください！

いえ、俺を食つてください！

巫女様あ、私を刺し殺して下さい！

巫女様あ、女神様あ、私を私を殺して下さい…！…！…！

叫ぶ叫ぶ殉教者達を見た巫女様は両手にサブマシンガンを持ち、銃口を殉教者達に向け狂喜の笑みを浮かべ引き金を弾いた。

殉教者達は、次々と巫女様が放つ弾丸に嬉しそうに倒れ死んで逝く。彼らにとつて狂喜に満ちた巫女様に殺されるのが、最高の祝福であった。

巫女様に殺されるなら、大金を払つて喜んで死んだ。

何故なら、それが最高の祝福で快樂のだから。

巫女様は実に楽しそうに人を殺してらつしやる。

サブマシンガンを捨て、ガトリング砲に持ち替え一斉掃射を始めた。

楽しいのか、巫女様は笑つた…狂氣の名の元に笑つた…狂い笑つた。

キヤハハハハ、アツハハハハ、ヒッヒヒヒヒ、キヤ、アツハ、キヤ
ハハハハ！！

楽しそうにお笑いになる巫女様に殺される殉教者達は嬉しい表情を浮かべ死んで逝く。

アツハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ！！！

実際に楽しいぞ！！人間達よ、我を崇める者達よ！！

私は実際に楽しいぞ！満足ぞお！！だが、まだまだ足りん！

狂氣をもつと…もつとオオオ！！見せろオオオ！！！

さあさあ、殺されろ、殺せ！！

我が五体満足になるまで、心が潤うまで殺し合え～！！

クックククク、ギャハハハハ、アツハハハハハハハハハハ！！！

人間よ、狂氣に飲み込まれるが良い！

我にその血肉を捧げる！

その狂氣を注げ！

奮い立て、その狂乱にいい！！

女神よ、次々殺すがいい！

貴様が殺す度に私の心は癒される！！

女神よ、貴様は最高の狂った人だ…否…！

女神様だよ～キヤハハハハ～！！

愛しい愛しい女神様…次は誰を殺す？

そこにいる老婆か？

怯えている餓鬼か？

のうのうと生きているお偉いさんかい？

それとも、親？友人？

誰でもいいから、殺せ殺せええ～！！

この世界は狂っている…無論…これを見て読んでいる君もね…あつ
は、あつははははは…!

（完）

(後書き)

…はい、とりあえず…本当にじめんなさい。何書いてるんでしょう
か僕（汗）…狂イ神シリーズ第一弾を第一弾を同じ日に公開しました。
暇なんです…そして憑かれています…違う…疲れていますかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5984f/>

朝方の泣く狂イ女神

2010年10月15日09時53分発行